

研究主題 他者と協働し、豊かな言語生活を実現する国語学習（一年次） ～「言葉による見方・考え方」を働かせる学びをつくる～

I 団体の概要・目的

昭和24年に発足。国語教育の理論と実践について研究し、東京都小学校国語教育の推進と発展に寄与することを目的とした研究会。令和5年度の会員数は238名。毎年研究の成果について公開発表し、国語教育の充実と発展に努めている。今年度の研究大会は、今年度で通算第34回を数える。令和8年度の全国小学校国語教育研究会において東京大会を開催することを見据えた研究を進めている。

II 研究組織・取組

「話すこと・聞くこと部」「書くこと部」「読むこと部」「言語部」の四つの研究部に分かれて、研究主題、副主題に基づいて各部の研究主題を設定して単元開発を行っている。開発した単元は、9月から12月の間に2回～3回の定例研究会において公開し、協議を行う。その後の部会で更に検討を重ね、2月の研究大会で公開している。

会全体としては年間を通して以下のような取組をしている。

(1) 研究大会事業

- ①都小国研総会・講演会・研究委員総会（5月）
- ②都小国研多摩地区研究会 総会・研究大会（5月）
- ③都小国研研究大会（2月）

(2) 研究調査事業

- ①都小国研まなび塾（7月）
多摩まなび塾（10月）
- ②研究各部の定例研究会（「大会」に対して「小研」という）各部で実施
- ③研究各部の研究活動
- ④地域の研究活動への協力

(3) 研究成果刊行事業

- ①機関誌・会報の発行
東京都小学校国語教育研究会・機関誌 国語教育 年2回
都小国研多摩地区研究会会報 国語教育 年2回
- ②研究紀要の発行

III 研究主題について

国語科においては、言葉による見方・考え方を働かせることにより、子どもたちの言葉への自覚が高まり、子どもは自らの国語学習や言語生活を振り返り、言葉の使い方や使われ方に対する視点や規準をもつことができる。このことにより、学習への自覚が促され、身に付けたい言葉の力を意識し、自ら学習を進めていくことにつながる。こうした学びを積み重ねることで、他教科や日常生活にも活用するようになり、豊かな言語生活につながると考える。学びの中では他者と協働する活動は欠かせない。他者との協働を重ねることで、自らの学びや身に付けた言葉の力を広げ、深め、高めていくことができると考える。

そこで、研究主題を「他者と協働し、豊かな言語生活を実現する国語学習」と位置付け、3か年にわたって研究を深めることを目指し、副主題を設定した。

一年次「言葉による見方・考え方」を働かせる学びをつくる

二年次 身に付けたい力を意識し、自ら学びを進める

三年次 学びを通して身に付けた言葉の力を日常生活で生かそうとする

これまで「主体的、対話的で、深い学びの視点による授業改善」を視野に入れ研究を進めてきたという実績を受け、都小国研全体としての研究を高めていくため、以下の観点を共有して研究を進める。

- (1) 児童が（本単元において）身に付けたい力を自覚し、主体的に学習に取り組む。
- (2) 学習活動（言語活動）において、自らの考えをもち、多様な考えをもつ人と関わり、新たな考えをもつ。（確かにする、広げる、高める、深める、などを含む）
- (3) 獲得した言葉の力を日常生活に活用し、言語生活を豊かにする。

〈各部の研究主題〉

【話すこと・聞くこと部】「求めて聞き、関わって伝える力」を育てるために

【書くこと部】主体的・対話的な書くことの単元づくり

【読むこと部】自立した学習者を育てる読むことの指導

【言語部】言葉のよさに気付き、親しみ、日常生活に生かす単元づくり

IV 今年度の各研究部の研究内容・開発単元

【話すこと・聞くこと部】 講師 都小国研顧問 邑上 裕子先生
 [研究内容]①児童の実態把握・分析に基づいた単元で身に付けさせたい力の設定 ②単元づくりの工夫③学習活動の工夫 ④評価の工夫
 [開発単元]

2年生「元気になあれ！おすすめサラダをめしあがれ！～友達と聞き合って考えよう～」

5年生「お札にするならこの人が推し！～心を動かすスピーチをしよう～」

【書くこと部】 講師 都小国研顧問 成家 亘宏先生
 [研究内容]①単元開発の工夫[0次、文例の提示、実の場]②柔軟な学習過程の工夫[往還的／複線型]③対話型な学びのための工夫 ④評価活動の充実
 [開発単元]

2年生「しょうかいます！ステキ賞☆～友だちのいいところをしょうかいます文しょうを書こう～」

5年生「教えてあげる！わたしの『推し』～生活を振り返って好きなことや得意なことについて紹介する文章を書く～」

【読むこと部】 講師 都小国研顧問 岸本 修二先生
 [研究内容]①児童が身に付けたい力を自覚し、主体的に学習に取り組むための工夫②自らの考えをもち、多様な考えをもつ人と関わり、新たな考えをもつための工夫③児童が獲得した言葉の力を日常生活に活用し、言語生活を豊かにするための工夫

[開発単元]
 2年生「そうぞうしたことを音読げきであらわそう」(学習材「お手紙」)
 4年生「場面のうつりかわりと結びつけ、登場人物の気持ちの変化を読もう」(学習材「ごんぎつね」)
 6年生「太一の生き方を考えよう」(学習材「海の命」)

【言語部】 講師 都小国研顧問 今村 久二先生 参与 泉 宜宏先生
 [研究内容]①言葉の学習が「書くこと」に生きる単元構成の工夫
 ②言葉に親しむための仕掛けづくり、開発
 [開発単元]

2年生「ことばのアルバムをつくろう～ようすをくわしく書こう～(仮)」
 5年生「和の文化 パンフレットで伝えよう(仮)」

V 第34回研究大会の予定

(詳細は本会ホームページをご覧ください。)

- 日時
令和6年2月16日(金)
午後1時40分～4時45分
- 開催方法…都内4会場校での分散開催
第1会場 西東京市立田無小学校【話すこと・聞くこと部】
第2会場 中野区立令和小学校【書くこと部】
第3会場 江東区立第二辰巳小学校【読むこと部】
第4会場 練馬区立向山小学校【言語部】
- 時程
13:40～ 公開授業
14:35～ 研究発表・研究協議
都小国研顧問による指導・講評
15:40～ 全体会(オンライン配信)
15:55～ 講演予定(オンライン配信)
文部科学省初等中等教育局 教育課程課 教科調査官
大塚 健太郎 先生
- 参加費 無料(都内公立小学校教職員及び本会名簿登録者)

VI 研究会への参加について

随時募集しています。下記事務局までお問い合わせください。

＜令和5年度連絡先＞

団体名		東京都小学校国語教育研究会	
代表者	所属	文京区立千駄木小学校	
	職氏名	校長 山口 麻衣	
	連絡先	03-3821-7168	
事務局	所属	練馬区立向山小学校	
	職氏名	校長 小池 智彦	
	連絡先	03-3999-9145	
団体ホームページ	URL	http://tosyoukoku.org/wp/	
	二次元コード		